

## 福井県長期 VISION 出前講座 が開かれました

令和2年1月30日(木)に、福井県未来戦略アドバイザーの太田 誠二郎 氏と福井県庁未来戦略課の職員の方々による、福井県長期 VISION 出前講座が開かれ、中学1年生が参加しました。

まず、未来戦略課職員から、今後の福井県の取り組みに関するレクチャーがありました。「人口減少」「長寿命化」「大交流化」「技術革新」のそれぞれの側面から福井県の現状と将来を探っていきました。「2040年には、福井県の人口は70万人を切る。○か×か?」「2040年に最も人口の多い年齢グループは60~64歳のグループである。○か×か?」といった質問を交えながらのレクチャーは大いに盛り上がりました。

その後、太田氏から「福井県にはたくさん魅力がありますが、それが(他地域の人には)知られていません。それが弱みでもあり、伸びしろでもあります。」といったコメントをいただきました。



続いて生徒たちは5人グループになり、「福井県が発展するために、今、中学生ができることって何?」「県民が心がけるとよいことは何?」というテーマのもと、ワークショップ形式でディスカッションを行いました。活発な議論の後、各グループの成果を発表しました。「(福井県から国内への発信という)従来の発想を変えて、まず外国に福井県を知ってもらい、そこから(逆輸入して)日本に情報が伝わるようにすればよいのでは。」「まずは福井県のことを自分たちがしっかりと知ることが大切。」「他人に親切にし、マナーを守るなどして(色々な意味で)美しい町にしたい。」など様々な意見が出ました。

福井県の、そして自らの将来を思い描く生徒たちの、活発な様子が見られた講座でした。

